

教科	成果	課題
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字の小テストを計画的に行うことで、漢字の読み書きが大幅に伸びている。</li> <li>・読書が好きな児童が多く、読書の幅も広がってきた。そのため、読み取りの力も前年度よりも大幅についてきたといえる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聞く力に課題がある。話し手の意図を考えながらつかみ、話の内容を聞き、メモをとらせるように指導する。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度、自力解決の場面では、特に小数のわり算の計算式作りやわり算の計算が苦手と感じる児童がいた。計算式をたてる際に、数直線を用いて考えることに慣れてきた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分数の計算が苦手だと感じている児童が減るように、スキルアップタイムを充実させ、補習教室、ステップ学習、ベーシックドリルを活用して学習内容の定着を図る。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視聴覚教材を活用することで、課題に対する関心を高まった。</li> <li>・他の教科の指導とも関連付けながら、資料の読み取り方を身につけたことで、読み取る力に伸びがみられた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会科の基礎となる用語の定着が不十分で、記述できない児童がいた。授業の中で用語を使う場面を増やし、定着を図る。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験器具の使い方を理解し、適切に使用することができるようになった。</li> <li>・前年度課題に挙がっていた動植物の観察は、グループで協力して計画を立て、実験したことで、力を着実に付けた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察・実験を生かしながら、自然の事物・現象の性質や働き、相互関係、規則性などに気付き自分の言葉で考察していけるよう、授業の中で部分的に作文できる場面を増やし、定着を図る。</li> </ul>
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌唱・器楽では、一斉指導やグループ活動を通して音色や奏法に注意しながら演奏することが出来るようになった。</li> <li>・音楽づくりではこれまでの学習を活かして、即興的に演奏することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽づくりの活動では、旋律やリズムを自由に作曲出来るようになってきている。しかし、「和音」や「音の重なり」を感じとりながら演奏することには課題を感じる。</li> </ul>
図工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既習の技能や経験を生かし、さらに発展した表し方で課題に取り組むことができた。</li> <li>・ワークシートやイメージスケッチを活用することで、表したいことのイメージが具体的に持つことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先の見通しを持って具体的に構想することが苦手と感じる児童がいた。具体的な参考資料や方法を例示し、それらをヒントとして次へのイメージが持てるようにしていく。</li> </ul>
家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実生活を想定した実践方法を提示し、家庭での実践意欲を高めることができた。</li> <li>・既習の技能や知識を生かし、縫い方や製作手順を自分なりに工夫して製作できた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調理実習や裁縫用具の片付けの意識が十分でない児童がいる。</li> <li>・環境に配慮した水や材料（食品、糸、布など）指導を引き続き行う。</li> </ul>
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習カード、体育ボード等の活用により、個々のめあてを具体的に振り返ることができた。また、音楽を活用した運動により、児童が楽しんで運動に取り組むことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボールの扱いについては個人差が大きい。</li> <li>・保健領域において、けがの防止の知識は身につけてきているが、技能面や日常の実践については個人差がある。</li> </ul>